



『アートな生活とあそび展』

アンケートより(一部抜粋)

1 時間について

- ・二部制にすることで、混雑しすぎず 1 時間 30 分で全体を回りきれたので、良かったです。
- ・二部はお昼を挟む時間帯になったので、やはり一部に参加者が集中しすぎたように思います。小さい子がいると二部の時間帯は難しく感じました。おにぎりなどの昼食になる販売があれば参加しやすいと思います。開始時間については検討課題だと思います。

2 内容について

- ・まだ 1 歳なので、乳児クラスのコーナーのあそびが楽しかったようでしたが、幼児クラスのあそびは親としては今からだった数年でこんな物も作れるようになるのか！！と驚きと感動でした。廃材で楽しそうに遊んでおり、大人が思いつかないようなあそび方をしている、家でも取り入れようと思いました。
- ・スライム(シェービングクリーム入り)に夢中になりすぎて 30 分くらいそこで過ごしたため、他は駆け足で回りました。どのブースもとてもしようでした。どでかスライム迫力がありません。
- ・SDGs の展示物(イラスト)を見て、「何の絵？」と聞かれ、そこらいろいろ子どもと話をするきっかけになりました。
- ・廃材やいろいろな物を使い、子ども達が創り出した世界が広がっていて、子ども達が楽しめるのは勿論のこと、大人も楽しめました。自分が作った物を皆に楽しんでもらえる喜びや他の人が作った物から学びを得られる素敵な機会であり、興味の幅が広がる『アートな生活とあそび展』でした。
- ・個人作品も成長を感じることができたかと思うので、見てみたかったです。
- ・外あそびのコーナーが楽しかったようです。

3 飲食について(手作りクッキー・パン・ジュースなど)

- ・自分で買い物できたのが子どもにとって嬉しかったようで、買って直ぐ食べられるので「お祭りみたい。」と楽しんでいました。
- ・後半に行っても数もあり、手作りクッキーが美味しかったです。
- ・クッキー買いました！帰宅してからも「まだ食べたかった。」と言っていました。ぜひレシピを配信してください。
- ・現金販売だったので対応も早く良かったです。
- ・事前の金券や金券での購入など、お金をやり取りしない方法も良いのではないのでしょうか。
- ・揚げパンは油や砂糖が手や口について少し大変だったので、食べやすいメロンパンやアンパンなどがあると嬉しいです。
- ・ジュースは 100%や紙パック入りが子ども達には飲みやすいと思います。

4 さくらんぼ会主催のコーナーについて(ゲーム、おみやげなど)

- ・ハロウィンのフォトスポットは、衣装が用意してあったので、子ども達も喜んでいました。
- ・輪投げ、射的など優しく丁寧なやり方で教えていただき「できた！」と子どもは喜んでいました。
- ・お菓子におもちゃが入っていたので、子どもはとても喜んでいました。

5 さくらんぼ会役員さんの声より

- ・仕事などでなかなか都合をつけるのが難しかったのですが、できる人ができる事をすればよいと思うので、ぜんぜん苦でもなく、楽しく取り組むことができました。
- ・一部の混雑した時が少し大変でした。



令和6年 11月の保育園だより



坂みみょう保育園

『自ら学ぶ楽しさを知った子ども達』

～アートな生活とあそび展を終えて～
秋雨前線の影響により、日ごとに秋の深まりを感じる頃となりました。

先月末に開催した『アートな生活とあそび展』には、たくさんのご家族でご来園いただき、アンケートにもたくさんのご意見、ご感想をいただき、感謝申し上げます。

また、さくらんぼ会厚生部役員の皆様との協力の下、フォトコーナーやあそびのコーナーを企画していただくなどして、触れ合いの場を設けて下さったことで、たくさんのお話が生まれ、笑顔が溢れる時間となりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

春から夏にかけて子ども達は生活やあそびを通して、いろいろなことに挑戦してきました。上手くいくこともあれば、上手くいかないこともたくさんあって、葛藤もしてきたことと思います。子ども達は本来、楽しんであそぶ中で多くのことを学び、自ら学ぶ力を身につけていることを実感しているところです。

学びの原動力は、きっと子ども達が自ら考え挑戦していくことにあることを『アートな生活とあそび展』でも証明してくれたように思っております。

園庭では異年齢が交流しながら遊んでいましたが、9月頃より乳児さんも幼児さんも、保育環境の一つとしてオープンスペースを確保することから始めることで、異年齢が交流する場が室内でも増えました。

乳児さんは、0、1、2歳児が繋がっている廊下のスペースも利用することで、お部屋を歩き来したりしながら、廊下があそび場となり、異年齢がそれぞれの遊び方で交じり合ってあそぶことも多くなりました。お部屋の中でしか遊ばなかった0歳児が探索活動をするかのように2歳児クラスを覗いたり、1、2歳児のまねっこをしたりしながらあそぶ姿も見られました。その姿を見守っていると「やりたいこと」「興味関心があること」一人ひとりが「やろうとしていること」が伝わってきます。

幼児クラスでは初めそれぞれのクラスで興味関心をもっているあそびをホールに持

ち寄ることで、そこをオープンスペースとすることができました。環境の変化はありましたが、自由にお部屋を選んで行き来したり、あそびそのものを選んで遊ぶようにもなったり、一人ひとりの子ども達のやりたいことが、明確になってきたように思いました。

「光と影」「色水あそび」「鏡あそび」「磁石あそび」「パブロケット」など科学的なあそび、「お店屋さん」「病院」「なりきり」などのごっこあそび、「まちづくり」「ジオラマ作り」「コロコロスライダー」などの制作あそび、「スライム」「泥絵の具」「石」「植物」などの触感的なあそびや自然物との触れ合いあそびなどなど。

クラスの垣根を越えるとそこにはまた、新たな異年齢ならではの触れ合い(あこがれやおもいやりなど)が始まり、あそびは毎日のように変化していき、一人ひとりのドラマがあり、心の表現にはさまざまな形もありました。

あそびながら壊れていくもの、それを修復しながら形を変えていくもの、偶然にできた形や発見した素材から新たなあそびを創造する子ども達には驚くことがいっぱいあります。

これからも子ども達が秋ならではの自然やいろいろな素材や必要な道具に出会い、身のまわりの不思議に気づき、好奇心の芽をのびしながら、人(同年齢、異年齢、地域の方など)との関係性を軸に、自ら考え創り出す力を育むことができるよう私達職員も受け止め、見守り、応援するつもりで子ども達の探求心を育みながら、ともに過ごす園生活を楽しんでいきたいと思っております。

今月は9日(土)に乳児クラスの保育参観があります。グループ園の管理栄養士である道祖友美先生の食育に関する講演会も開催いたします。乳児さんにとって食は、楽しく生活し遊ぶための原点です。食育に関わることに自ら学ぶ楽しさはいっぱいあります。その視点を講師の先生と一緒に考え、安心安全に過ごす食育や子育てのヒントを保護者の皆さんと一緒に学び合いたいと思います。(園長)

地域公開保育、第三者委員さんの一日園長について(お知らせ)

下記の日程で地域公開保育を開催し、地域の皆様に保育園の子ども達の様子を参観いただいたり、情報交換をしたりしながら地域の中においての保育園の役割について確認し合いたいと思っております。

この日は坂みみょう保育園の第三者委員さんの小迫清志様や見藤洋子様にもお越しいただいて、「一日園長」としてご指導もいただく予定です。

日時：11月8日(金)

園内の公開保育

午前9時45分～10時45分

※園内、園庭であそび子ども達をご自由に参観ください。

カフェタイム・情報交換会

午前10時45分～11時45分

※映像で子ども達の発達の様子もご紹介いたしますので、お茶を飲みながら子育てや地域の情報交換をいたしましょう。令和7年度の入園希望などのご質問にもお応えいたします。

場所：坂みみょう保育園

※駐車場は10台分

自転車・バイクなどの駐輪場有

対象：未入園の乳幼児と保護者

(在園児の保護者の方で、未入園の子どもさんがおられる場合は、参加可)

園児の祖父母、地域の皆様、行政・学校関係者

皆様お誘いあわせの上ご来園ください！